

ダロウカの使用実態

—学習者書き言葉コーパスを使用して

馮雁鴻

✦要旨

ダロウカは日本語教育において早い段階で導入されるが、学習者によるダロウカの使用実態に関する研究はまだ多くない。学習者が実際どのように使っているのかを明確にしないかぎり、習得における問題点を見逃す恐れがあり、改善もできない。そこで、本稿ではダロウカの用法を「疑い」と「婉曲」に二分し、日本語教育の観点から学習者によるダロウカの使用実態を調査した。

その結果、学習者によるダロウカの使用は母語話者より著しく少ないことがわかった。「疑い」用法については、学習者はダロウカの文章の構造における働きに対する理解が不十分であり、「婉曲」の用法については、「主張・助言」を婉曲にするためのダロウカの使用が少ないことが明らかになった。

✦キーワード

ダロウカ、学習者コーパス、使用実態、日本語教育、問題提起

✦ABSTRACT

This paper investigates the actual use of “Darouka”, which is usually taught in beginner level in Japanese language education. The “Darouka” sentences from learner corpus are divided into “doubt” and “roundabout”. By comparing with native speakers, problems in use of “Darouka” by learners are observed.

In the case of “doubt”, “Darouka” can be used to raise a question. However, learners’ understanding is still not enough. In the case of “roundabout”, the use by learners is much less than native speakers, when making an assertion or suggestion.

✦KEY WORDS

Darouka, learner corpus, the actual use, education of Japanese language, raising a question

The Actual Use of “Darouka”
Basing on Learner Corpus
FENG YANHONG

1 はじめに

ダロウカ^[註1]は話し言葉と書き言葉のいずれにおいても多用される文法項目の一つである。(1)のような疑いを表出する用法もあり、(2)のような質問文を婉曲にする働きもある。

- (1) 雨が降らないのは、本当に空や自然のせいだけだろうか。
- (2) お客様、こちらはいかがでしょうか。

日本語教育において、ダロウカが早い段階で導入されるのは普通である。しかし、学習者によるダロウカの使用状況についての研究は管見の限りまだ多くない。学習者が実際にどのように使っているのかを明確にしない限り、習得における問題点を見逃す恐れがあり、改善もできないと思われる。そこで、本稿はダロウカに注目し、日本語教育の観点から学習者によるダロウカの使用実態を調査することを目的とする。

2 先行研究及び本稿の分類方法

宮崎他 (2002) において、ダロウカは「疑い」の表現として扱われている。宮崎他 (2002) によると、「疑い」とは、質問に備わっている「不確定性条件」と「問かけ性条件」のうち、「問かけ性条件」を欠くものである。したがって、「疑い」は話し手にとって不明の点があることだけを表し、聞き手に問かけ機能を持たないとされている。また、宮崎 (2005) は「疑い」のダロウカに「中立型」「肯定型」「否定型」の三つのタイプがあると指摘している。「中立型」は特定の可能性を優先させず、中立的な立場をとるタイプ (例 (3))、「肯定型」は取り上げた可能性を選択する方向に向いているタイプ (例 (4))、「否定型」とは取り上げた可能性を選択しない方向に向いているタイプ (例 (5)) である。

- (3) 私は坐っていて変にいらいらし出します。私はあれは親類なのだろうか、それとも唯の知り合いなのだろうかとまず考えてみるのです。それから若い男だろうか年輩の人だろうかと思案してみるのです。

(夏目漱石「こころ」)

- (4) もしかしたら、あの刺青は、自己鍾愛の表現だろうか、と行動は刺青を見るとき思うことがあった。

(立原正秋「冬の旅」)

- (5) 原田瑞枝は僕の言っていたことを果たして本当に正しく理解しているのだろうかということが、目を追うにしたがって気がかりになった。

(椎名誠「新橋烏森口青春編」)

また、日本語記述文法研究会 (2003) は、ダロウカに質問を「婉曲」にする機能があると指摘している。(6)はその例である。このような機能は「疑い」用法の「応答を強制しない」というところから派生したものであるとされている。

- (6) 失礼ですが、田中さんでしょうか。

先行研究で指摘された「疑い」と「婉曲」は、ダロウカの基本的な意味及びそこから派生した用法を網羅できると思われる。しかし、「疑い」と「婉曲」用法はどのような場面によく使われるのか、またどのような表現効果があるのかについては言及していない。日本語教育において、文法項目の具体的な表現効果を指導することは、学習者の産出につながるとと思われる。以下、ダロウカの表現効果をまとめる。

「疑い」とは、ある命題の真偽が不明であるという、書き手・話し手の疑念を表出する用法である (例 (7))。「疑い」には対人性がなく、独話にも対話にも使われるが、文脈状況によって違う表現効果がある。独話において、(8)が示しているような「問題提起」の働きがある。一方、対話に用いられるダロウカは積極的な問かけ性がないが、話し手の疑念の表出により、間接的に聞き手に意見を述べさせる表現効果がある (例 (9))。

- (7) 佐藤はここは初めてなのに、どうしてこんなに詳しいんだらう。
 (日本語記述文法研究会2003: 36)
- (8) 確かに、理論的にはその通りですが、実際に子会社化されたShared Service Companyの実態はどうなのでしょう。結論から言えば、最初の1、2年は良いが、中長期的には、以下に述べるような様々な経営上の課題を内含していると思います。
 (中田研一郎『ソニー会社を変える採用と人事』角川書店,2005)
- (9) 「うん、警察は、菅野さんが交差点にさしかかるまでの行動は調べているんだらうか。」
 「さあ……そこまで聞いてみなかったな」 (宮崎2002: 72)

一方、「婉曲」は「疑い」から派生した用法である。疑問文で用いられるダロウカは、書き手・話し手の「婉曲」という対人的表現効果のために用いられる。前接する文の論理的意味を変えず、婉曲さを加える。ダロウカは(10)のような質問文で用いられると、質問が和らげられる。(11)(12)のような疑問文形式をとっている依頼や主張を表す表現で用いられると、依頼や主張が婉曲的に表され、読み手や聞き手に対する丁寧さを加える。

- (10) 失礼ですが、田中さんでしょうか。 (日本語記述文法研究会2003: 37)
- (11) すみませんが、明日、時間をとっていただけませんでしょうか。(作例)
- (12) 無限責任とはあまりにも重いというのであれば、一般投資家よりも重い責任を負担すべく新しい「法的な社員」制度を創設することでもよいのではないだらうか。 (三國仁司『不動産投資ファンド』東洋経済新報社,2001)

3 調査方法及び結果

3.1 使用したコーパス

本稿は、日本語母語話者(以下「JP」とする)と対照しながら学習者(中国語話

者に限定し、以下「CN」とする)によるダロウカの使用実態を調査するために、『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』(以下「YNUコーパス」とする)及びJCK作文コーパス^[註2](以下「JCKコーパス」とする)を使用して調査を行う。

YNUコーパスには、中国語話者30名、韓国語話者30名と日本語話者30名が12のタスク^[註3]に基づいて書いた作文、計1080編が収められている。学習者は、日本語能力に多少のばらつきはあるものの、大学での勉学に対応しており、上級レベルに達していると思なせる。

JCKコーパスは、三つのタイプ^[註4]の内容について、中国語話者20名、韓国語話者20名と日本語話者20名が2,000字程度の長さの作文を書いたものをコーパスにしたものである。学習者はすべて、日本語能力試験N1に合格または合格相当レベルであり、上級レベルに達していると思なせる。

本稿では、YNUコーパスのCNとJPによる計720編、総文字数約25.8万字の作文と、JCKコーパスのCNとJPによる計120編、総文字数約26.5万字の作文から、ダロウカの用例を手作業で抽出する。これらのコーパスは、CNとJPに対して同じ作文タスクを課すことによって得た作文を収録しており、文章の内容が揃っているため、CNとJPによるダロウカの使用における違いがうかがえると思われる。

3.2 調査結果

3.1で述べた調査方法によって抽出したダロウカの用例を「疑い」及び「婉曲」に分類し、結果を図1に示す。「疑い」と「婉曲」の比率から見れば、CNとJPとの間の差は少ないが、総数から見れば、大きな差がある。CNによる「疑

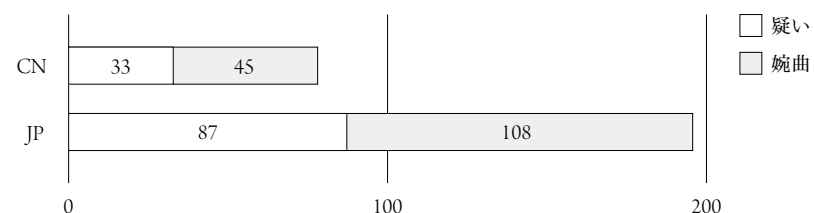


図1 ダロウカの用例数

い」の用例はJPより54件、「婉曲」の用例数はJPより63件も少ない。

では、具体的にどのような場面において、JPとCNのダロウカの使用の有無に違いが生じるのだろうか。CNによるダロウカの使用における問題点を究明するために、以下、「疑い」と「婉曲」にわけてCNの使用実態を検討する。

4 ダロウカの使用実態

4.1 「疑い」のダロウカ

宮崎（2005）が指摘しているように、ダロウカが表す「疑い」には「中立型」「肯定型」「否定型」の三つのタイプがある。収集したダロウカの用例を三つのタイプにわけた結果を表1に示す。どのタイプもCNの用例数はJPより少ない。特に「中立型」の場合に、CNの用例数は27件であり、JPの用例数の4割にも達していない。以下、「中立型」「肯定型」「否定型」それぞれについて、実例に基づいて検討する。

表1 「疑い」のダロウカのタイプ

	中立型	肯定型	否定型
CN	27	5	1
JP	73	9	5

4.1.1 「中立型」

「中立型」におけるJPとCNの用例数に大きな差異があるが、それはどのような場面に現れているのだろうか。各タスクにおける「中立型」のダロウカの出現数を図2と図3に示す。JPによる「中立型」のダロウカの用例は、YNUコーパスにおけるタスク⑥とタスク⑫、JCKコーパスにおける「意見文」にもっともよく出現する。一方、これらのタスクにおけるCNの用例数はJPより少ない。

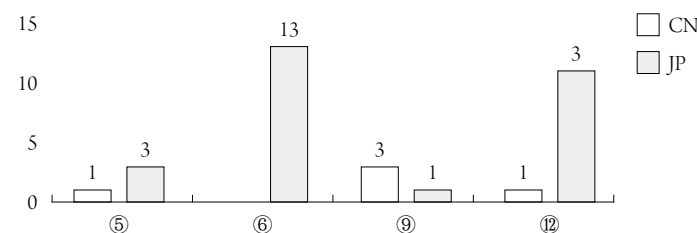


図2 「中立型」のタスク別の出現状況 (YNU)

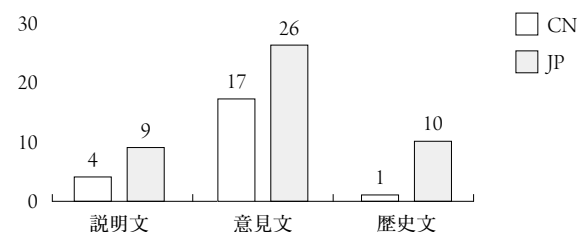


図3 「中立型」のタスク別の出現状況 (JCK)

JPの場合、タスク⑥「市民病院の閉鎖についての投書」と「意見文：晩婚化の原因とその展望」のような意見や主張を述べることを要求される文章において、ダロウカはよく問題を提起するために用いられる。この場合に、ダロウカはこれから述べようとする内容がどのようなものなのかを予告する働きがあり、ダロウカによって提起された問題を読み手に考えさせて、読む興味を湧かせる表現効果があると考えられる。(13)を例にすると、晩婚化の理由を述べる前に、ダロウカによって「なぜ結婚しないのか」という問題を提起して、これから晩婚化の理由を述べるということを予告し、文章の流れをわかりやすくしている。読み手もその問題に気づき、晩婚化の理由を考えながら面白く読み進めていくだろう。

(13) 近年、世界各国で晩婚化が進んでいる。そして、これは日本でも例外

ではない。なぜ、人々はなかなか結婚しなくなってしまったのだろうか。特に日本の事例について、晩婚化が進んだ理由を述べたい。

(JCK,j06-2)

また、タスク⑫「小学生新聞で七夕の物語を紹介する」においては、JPによるダロウカの用例はよく(14)のような物語の展開を述べる際に現れ、読み手の興味を引く働きがあると考えられる。

(14) おりひめとひこぼしは、おにあいの夫婦となり一緒に暮らしはじめました。ところがどうでしょう。あんなに働き者だったおりひめとひこぼしが、結婚してから全く働かなくなってしまいました。

(YNU,タスク⑫,J013)

一方、(15)と(16)の比較からわかるように、同じ病院閉鎖の影響について述べる際に、JPはまずダロウカによって問題を提起し、それから予想を述べるのに対して、CNは直接影響を述べ、ダロウカを使わない傾向が見られた。この場合にダロウカは必須ではないが、特にアカデミックライティングなど比較的長い論理的文章を書く際には、ダロウカのような表現によって、構造をわかりやすく示すことがより望ましいだろう。CNの不使用は、CNが「問題提起」のダロウカの文章の構造における働きに対する理解、また運用できるようになるための指導が不十分である可能性を示している。

(15) それなのに、市民病院を閉鎖してしまったらどうなるのだろうか。(中略)多くの人が町を離れ、別の医療が受けられる町へうつっていくだろうということは容易に予想できる。

(YNU,タスク⑥,J013)

(16) 閉鎖されると、近隣の住民たちが産婦人科とリハビリセンターに通う場合は、隣区の病院に行かざるを得ないことになってしまう。

(YNU,タスク⑥,C047)

4.1.2 「肯定型」

JPによる「肯定型」のダロウカの用例は、JCKコーパスにおける「歴史文：自分の趣味(昔から続けていること)について」によく出現する。(17)のようにはっきり覚えていないことについて述べる場面や、(18)のように不確定でありながら原因理由を推測する場面において「肯定型」のダロウカが使われる。

(17) 茶道部の活動によりいっそうのめり込んでいた私に転機が来たのは、入部してから3年ほどたったころでしょうか。私の通っていた中学校の茶道部では、毎年文化祭の時期に茶会を催すのが恒例だったのですが(後略)

(JCK,j04-3)

(18) 旅に出る時間も余裕もないのに、なぜスポーツバイクなら行けると思ったのだろうか。きっと、遠くに自分を連れて行ってくれる乗り物が目の前に、旅そのものが具現化してそこにあったような気がしたからだろうか。

(JCK,j11-3)

一方、CNによる(19)のような不適切な使用が見られる。YNUコーパスのタスク③は、レポートでデジカメの販売台数に関するグラフを説明するというものである。「肯定型」のダロウカは肯定への傾きがあるが、判断がまだ成り立っていない段階にある。そのため、レポートのような書き手の判断や主張が要求される文章において、ダロウカは不適切である。学習者に指導する際に、「肯定型」のニュアンスはもちろん、使用場面の提示も求められるだろう。

(19) [レポートにおけるグラフの説明]

2004年に販売台数がピークになっている。そのあと、急に減っていて、2006に一番低い販売台数になっている。2006から2008にかけ販売台数の数がやや、増えてくる。そして、2008から、販売台数が一気に上がって、販売台数が2010に歴年の第2位になった。これからも増えていくでしょうか。

(YNU③,C005)

4.1.3 「否定型」

「否定型」のダロウカは、「取り上げた可能性を選択しない方向に傾く」（宮崎2005）ことによって、書き手の主張を間接的に表せられると思われる。JPの用例(20)を例にすると、書き手はダロウカを用い、「経営が成り立たないことを理由に病院を閉鎖するという考え方はよくない」と間接的に主張するのである。

(20) 多くの人が通い、待合室で多くの時間をかけてやっと医者に見てもらえるような状態であるのに、経営が上手く行っていないのだという。人は来ている、しかし、経営が成り立たない、だから閉鎖する、という考え方で本当に良いのだろうか。
(YNU⑥,J014)

CNによる日本語作文の特徴として、「相手に向かって話しかけているような表現の多用」が指摘されている（伊集院・高橋2004）。次の(21)からこのような特徴も見られる。(21)はタスク⑥「市民病院の閉鎖について投書する」におけるCNの用例である。(20)との比較からわかるように、疑問文の形式によって主張を述べる場合には、相手に問いかける機能を持たないダロウカを用いたほうがよりふさわしいのである。ダロウカの不使用によって、直接相手に問いかけるような話し方になり、「新聞への投書」という体裁にそぐわなくなっている。このようなダロウカの使用は、中国語では疑問文をそのまま「疑い」として使うことができるという母語の影響に関連していると思われる^[註5]。

(21) このような意見が高まる中、居民の安心した暮しのために、国が当病院の閉鎖は果していい決断なのか？
(YNU,タスク⑥,C049)

4.2 「婉曲」のダロウカ

「婉曲」用法では、CNとJPによる用例数はそれぞれ45件と108件である。「婉曲」用法のダロウカが用いられるのは「意見尋ね・答え求め」「依頼・許可求め」「主張・助言」といった場面があると思われる。「婉曲」の用例をこれによって分類し、JP及びCNによるそれぞれの用例数を図4に示す。いずれの発

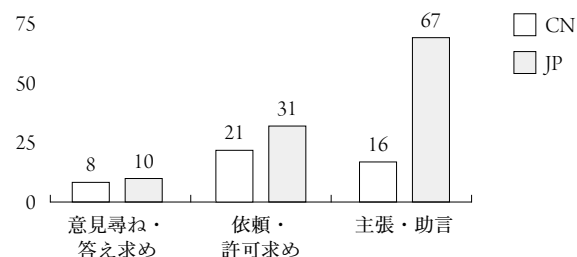


図4 「婉曲」のダロウカの出現数

話場面においても、CNによる用例数はJPより少ない。特に「主張・助言」の場面における差がもっとも大きい。

4.2.1 「意見尋ね・答え求め」

相手の意見を尋ねる場合、あるいは相手から答えを求める場合、ダロウカは質問を丁寧にする働きがある。後述する「依頼・許可求め」と同じように、読み手が特定の目上の人である際に、「婉曲」のダロウカが使われる。

(22) 近日、先生のご都合のよろしい日はございますでしょうか。返信いただければ幸いです。
(YNU,タスク①,J005)

目上の人に対する「婉曲」のダロウカの使用によって丁寧さに欠けるようになる恐れがあるが、CNの使用はJPとはそれほど大きな差がなく、このような場面に「婉曲」のダロウカを使う意識は持っていると言える。

4.2.2 「依頼・許可求め」

「依頼・許可求め」の場面において、「婉曲」を表すダロウカはよく「～してもらえないでしょうか」「～していただけませんか」「～してもよろしいでしょうか」などの形で現れる。

(23) 大変突然なお願いではありますが、ぜひ貸していただけないでしょうか。よろしくお願ひ致します。(YNU,タスク①,J018)

(24) 『環境学入門』という本を図書館で捜してみましたが、先生の研究室にあるということがわかりました。その本は今回の論文の資料として欠かせないものなので、それをお借りしてもよろしいでしょうか。

(YNU,タスク①,C039)

無論、(25)のように、ダロウカを使わずほかの表現によって間接的に依頼することも可能であるが、CNによる用例においては、(26)のように文法的間違いはないものの、ダロウカを使用すれば、より丁寧な、ふさわしい表現になる例がある。

(25) 先生が研究室に所蔵していらっしゃる伺いまして、もし宜しければ、1週間ほど拝借したいと思っております。宜しくお願ひいたします。

(YNU,タスク①,J022)

(26) [面識のない先生へのメール]

そこで、友達から先生の研究室にあると聞きまして、失礼ですが、お借りできませんか。(cfお借りできないでしょうか) (YNU,タスク①,C040)

4.2.3 「主張・助言」

「婉曲」のダロウカは主張や助言を表す表現と組み合わせることによって、書き手の「主張」や「助言」を和らげる働きがある。図4から、「主張・助言」の場面において、CNによる用例数はJPより特に少ないことがわかった。では、なぜこのような差があるのだろうか。その原因を探るため、ダロウカの前接形式を図5にまとめる。

「主張・助言」の場面において、ダロウカは(27)のように「のではないか」を前接する用例がもっとも多い。また「～いかが+ダロウカ」「～どう+ダロウカ」の組み合わせも見られる。

(27) このような意見が出るというのは奨学金がたりないということではな

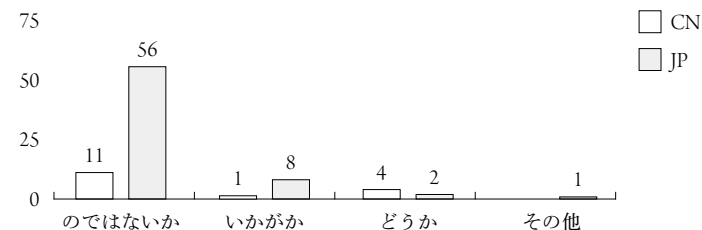


図5 「主張・助言」の場面におけるダロウカの前接形式

いでしょうか。是非奨学金の増額をご検討いただけると幸いです。よろしくお願ひします。(YNU,タスク④,J002)

CNによる「主張・助言」の使用が少ない理由として、「主張・助言」を述べる際、そもそも「～のではないか」の使用数が少ないことが挙げられる。また、「～のではないか」を使用しても、ダロウカと組み合わせて使用するのも少ないのである^[註6]。「のではないか」のかわりに、CNが主張を述べる際には、(28)のように「～と思う」が多用される傾向が見られる。また、助言する場合には、JPは(29)のように「～いかが+ダロウカ」を使用するが、CNの用例にはそれが少ない。(30)のように「お勧めしたいと思ひます」によって助言する例や、助言形式を使わず、(31)のように「～てください」などの依頼形式を使う例が見られる。

(28) 特に、いくつかの技能の中でも、僕は聴く力と話す力は重要だと思ひます。それはやはり教育制度の問題でもあります。一つの意見として、例えば、スピーキングを入試の試験にいれて、全方的に学生の能力に考察することは必要と思ひます。それだけでも、実際の教育場がかなり変わるのではないかと思ひます。(YNU,タスク⑩,C042)

(29) 観光名所というわけではないですが、休日丸一日楽しめる、隠れた穴場なので、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。(JCK,j11-3)

(30) まず、観光スポットについて、一つは揚子江の三峡あたりをお勧めし

たいと思います。

(YNU, タスク⑦, C048)

- (31) 「八達嶺」というのは、「万里の長城」の一部です。ペッキンから一番近いから人気がかなりあります。もし興味があれば、是非、いってみてください。

(YNU, タスク⑦, C045)

5 おわりに

本稿では、学習者コーパスを利用し、JPと対照しながらCNによる書き言葉におけるダロウカの使用実態を調査した。その結果、CNの使用における以下のような問題点が明らかになった。

- ① CNによる問題提起のダロウカの使用は少ない。論理的な文章におけるダロウカの働きについての理解が不足していると言える。ダロウカを指導する際に、文レベルで意味用法を説明するだけでは不十分であり、文章の構造における重要性も言及することが望ましい。
- ② CNによる間接的に主張を表すダロウカの使用は少ない。そのかわりに作文では直接相手に問いかけるような疑問文を使う。これは中国語では疑問文をそのまま「疑い」として使うことができるという母語の影響に関連していると思われる。
- ③ CNによる「主張・助言」を婉曲にするためのダロウカの使用は少ない。理由として、CNは主張や助言を述べる際に、より婉曲的な表現を使用する意識が薄いことと、ダロウカと「のではないか」などの表現との共起についての習得がまだ不十分であることが挙げられる。

今後、これらの問題点に基づいて、教科書調査を行い、教科書の改善及び指導する際の留意点について提言したい。

〈神戸大学大学院生〉

注

[注1] …… 「だろう (か)」「でしょう (か)」などの形を含む。疑問詞を伴う際、「か」が省略できる。

[注2] …… <http://nihongosakubun.sakura.ne.jp/corpus/> で公開されている (2018年4月14日最終閲覧)。

[注3] …… YNU コーパスにおける各タスクの課題

①	面識のない先生に図書を借りる	⑦	ゼミの先生に観光スポット、名物を紹介する
②	友人に図書を借りる	⑧	先輩に起こった出来事を友人に教える
③	デジカメの販売台数の関するグラフを説明する	⑨	広報誌で国の料理を紹介する
④	学長に奨学金増額の必要性を訴える	⑩	先生に早期英語教育について意見を述べる
⑤	入院中の後輩に励ましの手紙を書く	⑪	友人に早期英語教育について意見を述べる
⑥	市民病院の閉鎖について投書する	⑫	小学生新聞で七夕の物語を紹介する

[注4] …… JCK コーパスのタスク内容：

「説明文」：自分の故郷について；「意見文」：晩婚化の原因とその展望について；「歴史文」：自分の趣味（昔から続けていること）について。

[注5] …… 「国が当病院の閉鎖は果していい決断なのか」の中国語訳「国家关停这家医院真的是一个正确的决定吗」は、「国が当病院の閉鎖は果していい決断なのだろうか」という意味も表せる。

[注6] …… 今回の調査範囲内に、CNとJPによる「のではないか」の用例は67件と145件ある。そのうち、ダロウカと組み合わせたのはそれぞれ12件 (17.9%) と56件 (38.6%) である。

参考文献

- 伊集院郁子・高橋圭子 (2004) 「文末のモダリティに見られる “Writer/Reader visibility” — 中国人学習者と日本語母語話者の意見文の比較」『日本語教育』123, pp.86-95. 日本語教育学会
- 金澤裕之 (編) (2014) 『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』ひつじ書房
- 日本語記述文法研究会 (2003) 『現代日本語文法4 第8部 モダリティ』くろしお出版
- 宮崎和人 (2005) 『現代日本語の疑問表現—疑いと確認要求』ひつじ書房
- 宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃 (2002) 『新日本語文法選書4 モダリティ』くろしお出版

